

# 請願審議の結果について 衆参ともに不採択!

5月27日に全国から348人が集い実施した国会請願行動より3週間を過ぎた今日(6/16)、私たちの請願の採択結果が明らかになりました。

結論から申しますと、不採択という、残念な結果となりました。

今国会最終日16日行われた衆議院の厚生労働委員会において、与党と共産党に所属する委員以外の委員の出席がありませんでした。請願の審査は、全会派出席のもと行うという慣例があります。従って、請願を審査することができず、通常国会が本日閉会となりましたので、今国会に付託された全ての請願は審議未了のまま、自動的に不採択となりました。

また、参議院は、既報の通り、最終日は委員会も本会議もいっさい開かれずに閉会となったため、こちらも全ての請願は審議未了のまま不採択となりました。

これらの両院不採択の結果については、今後詳細を分析して、評価と総括を行っていききたいと思います。

今回の請願運動の最終到達は、まだ若干の変更の可能性はあるものの、署名が116万5002筆(募金は3488万2996円)にのぼりました。これだけの協力いただいた皆さんにとっても、悔しい結果となりましたが、奮闘いただいた皆さんと協力いただいた市民の皆さんに心よりお礼申し上げます。

## 基本合意の検証会議が中止に

16日に予定されていた自立支援法違憲訴訟の基本合意に基づく第2回検証会議は、前夜突然に中止となりました。厚労省の山井政務官(衆院議員)、与党の園田民主党衆院議員が、内閣不信任案提出の国会の動きがあり、検証会議に出席できそうにないためとの理由によるものです。

自立支援法改正法案への政府・与党の対応やこの検証会議の位置づけをめぐって、政府(厚労省)・与党と訴訟団検証会議実務者との事前の話し合いが先日行われており、この中で厳しいやり取りがあったこと等も中止の要因になっているのではとの見方も出ています。

訴訟団側は、早い時期に改めて検証会議を開くよう申し入れることにしています。

# 自立支援法「改正」案 廃案!!

### 16日は3回の連続集会

第174回通常国会は16日で閉会となりました。障害者自立支援法一部「改正」法案は、廃案となりました。法案は、自立支援法の延命と介護保険との統合に再び道を開く内容でした。

今月1日に参議院厚生労働委員会でも可決された同法案は、2日午前の本会議にて採決にかけられる直前、鳩山首相の辞任により本会議が開かれず、その後も本会議には採決に上らずに国会は閉会を迎えることになりました。

国会最終日の16日、昨夜から再びの強雨が曇り空に変わった朝10時から300人、午後1時から500人、3時半から300人が集まり、三回に渡って連続的に集会が開かれました。3日続けての緊急集会開催となるこの日、集会は最終日の国会の様子をその都度伝えながら、各地・各団体の人びとがマイクを握って廃案をアピールし、集会は続けられました。

### 与党が法案採決を再び提案

国会は、衆議院で野党から内閣不信任案がこの日の午前に提出されて、国会の他の機能がすべて停止しました(不信任案が提出されると他の審議や会議は停止するルールになっている)。その後、同案

が否決された後の午後3時から、参議院の議院運営委員会(本会議を開くかどうか、何を審議し採決するかを決める会議)が一次中断を交えて午後4時過ぎまで開かれました。この会議には、与党が再び同法案の採決を野党側に提案するという一時緊迫した状況も伝えられました。これに対して東京と埼玉の元原告団は、参院の民主党有力議員の部屋へ急ぎよ要請へ行くということも生じました。

### “廃案確定”に大歓声

結局、議院運営委員会は与野党が物別れに終わって散会となりました。これにより参議院本会議は会期終了まで開かれないことが確定し、自立支援法改正案は廃案が決まりました。

「廃案確定」がマイクを通じて伝えられると、集会参加者から一斉に歓声と拍手がわき起こり、中には涙を流して隣の人と握手する光景も見られました。共産党の小池議員、社民党の福島党首もその場に参加して廃案を一緒に喜び合い、民主党の金子議員も今後の決意を述べました。

### 運動を強めようと決意新たに

「運動の勝利です!」と参加者に呼びかけられると、再び大歓声でした。

しかし、新法づくりについてはまだまだこれからです。参加者は、秋の臨時国会への同法案再提出を許さない監視と、良質の新法づくりを後押しする運動を強めようと誓い合いました。

# “あきらめない”運動、 大きな勝利!

きょうされん No.267  
<臨時>

# NOW

2010年6月16日(水)  
発行:きょうされん  
TEL 03-5385-2223  
zenkoku@kyosaren.or.jp

